

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 値 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
②学校と地域 の課題	03 学校支援 ボランティアの 確保・育成	地域の実情により、域内の 小中学校によって学校支援 ボランティアの確保・育成及 び取組について差が大き い。	・これまで紙ベースでボランティア登録 を行っていたが、オンラインでも登録受 付可能にする。 ・各学校で行われている取組を域内小 中学校で情報共有できるようにする。	・域内小中学校の学校支援ボランティア依頼 内容・希望人数を市で取りまとめ、4月に市 HP及び市内公共施設に設置して市民に周 知・広報をする。 ・市内公共施設及び小中学校に応募用紙を 設置して学校支援ボランティアの募集(登録 依頼)をするとともに、継続意思確認を行い ボランティアの確保を図る。 ・学校支援ボランティアに登録した市民の情 報を学校及び地域学校協働活動推進員と 共有して、一層の活用に努める。	・域内の全小中学校におい て、地域学校協働活動の推 進に資する学校支援ボラン ティア活動が実施される。 ・登録された学校支援ボラン ティアから、地域学校協推進 員を発掘・育成する。	学校支援ボラン ティア活動の登録 者	162	人	200	191	03 本年度の 目標値を達成 し、課題の改 善が見られた ・ボランティア登録者数は去年を上回ることができた。 ・ボランティアに向けた研修動画を作成し、研修参加の 機会を増やすことで、ボランティアの資質向上に寄与で きた。 ・ボランティアの活用にあたり、学校格差が見られる。 ・地域学校協働活動推進員に適した人材を発掘する難 しさがあり、取組にも地域格差が見られる。